



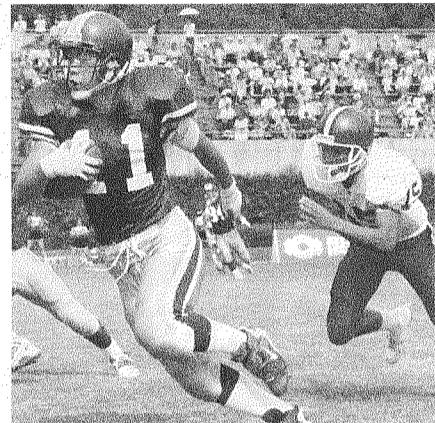
# 神戸人秋季スポーツ特集

## 「打倒3強」実現せず アメフト 終盤戦に望みを託す

関西学生アーリカントップリーグで神戸大は十一月五日現在一勝四敗。関学、立命、京大に敗れ、神戸大のテーマである「打倒3強」は今年も実現できなかつた。

十月十一日に行われた京大戦。先制を許した神戸大は第二Q末分、K田中の三十八ヤードFGで西尾差しを奪えず、第四Qだけで四本のインターセプトを奪われるなど完敗となつた。

三強の中でも真大には二年前に勝っているだけに、周囲の期待は特に大きかつた。



WR新居のパスを奪いDB塚原がインターチェント。  
(10月11日・宝が池球技場 撮影=橋本直美)

トボーアーリーグで神戸大は十一月五日現在一勝四敗。関学、立命、京大に敗れ、神戸大のテーマである「打倒3強」は今年も実現できなかつた。

人よりも戦術を武器とする似たタイプのチーム。二対一では決して負けていない」と谷川章也主将。しかし最後はどうにもならない。

同じ国立大で、選手個人の力よりも戦術を武器とする似たタイプのチーム。二対一では決して負けていない」と谷川章也主将。しかし最後はどうにもならない。

### 「悔しさをバネに」来季へ 硬式野球 神戸大は4位

近畿学生野球秋季リーグは十月二十日に閉幕。神戸大の成績は四位だった。

「あともう一本でいたら、あの判定がセーフだったら、ということが非常に多かった」と中野誠主将は振り返る。思惑どおりに進んだゲームはないといふ。重要な場面で打てないきわどい判定がセーフにならない。しかしこうしなったことがすべては実力であったと考えられるようになれば「このチームはもっと強くなれる」と中野が実力がなかつたことは言い訳できない」と話す。

### 秋季は入れ替え戦に終る リーグ5位に終わる

秋季関西学生サッカーリーグは今季、神戸大は五位の成績で行われた。神戸大は二部リーグ最終戦が十月三十日に六甲台グラウンドで行われた。神戸大は

龍谷大に0-3で敗れ、リーグを白星で終えることはできなかつた。「運もある。しかしながら得点につながることはできなかつた。運もある。しかだが

リーグのチャンスはめぐまされながら、得点につながることはできなかつた。

「運もある。しかだが

神戸大は二部リーグ最終戦が十月三十日に六甲台グラウンドで行われた。神戸大は

龍谷大に0-3で敗れ、リーグを白星で終えることはできなかつた。

リーグのチャンスはめぐまされながら、得点につながることはできなかつた。